



がらすぐに確認でき、情報共有がしやすいこの方法に落ち着いています。

暑さが厳しいと、農作物はもちろん、人にとっても大変です。新しく建てた事務所兼作業所で今年度から調製作業を行っているのですが、昨年度までと同じハウスのなかで作業していたとしたら、今回の夏はかなり苦労していたと思います。

——昨冬は降雪量が少なく、春先の水不足による農作業への影響なども心配されていました。

栽培しているネギは全て「夏扇パワー」で水をよく貯える品種のため、水はけのいい圃場ですが、ネギの栽培においては水不足の心配はありませんでしたね。今後も圃場条件などに合った品種を選んでいきたいと思っています。

——新型コロナウイルスは販売面に影響したのでしょうか。

流行初期は需要が落ち込むと聞いていましたが、結果的には外食や業務用では落ち込んだものの、量販店への出荷では好調でした。他産地がメインの時期に品薄傾向のなか、家庭向けの需要が上がったことで高単価となりました。高い価格がつくと、やはり生産者にとって励みになりますね。

——これからのネギの生産についてお聞かせください。

2021年度は栽培面積を2ヘクタールまで拡大します。機械設備や

作業動線、人員配置などを考え、選別作業をさらに効率化することで、出荷量を伸ばしていきたいと思っています。



1



2



3



4



5

1 2 7月収穫用の苗を育てるハウスで、苗の状態を確認する佐藤さん

3 栽培過程が記録された立て看板

4 新設の作業所にて、機械設備について考える

5 出戸地区の砂地で栽培する「夏扇パワー」